



# SSHレターズ

長崎県立大村高等学校  
～自ら気づき、考え、行動する～

1巻/40号 2021/10/28

## ◆SS探究Ⅰ：文理複眼時代へ向けて

10月6日(水)、1年数理探究科・普通科を対象に、「これからの大学における『文理複眼』時代へ向けて」と題した講演会を実施しました。講師は、長崎総合科学大学の藤原 章先生です。藤原先生は、ご自身の経験を元に、これからの時代は文理両方の視点をもたないと解決できない問題ばかりであるということ、生徒に熱く語ってくださいました。グループワークでは、データサイエンスの基礎を体験することができました。



## ◆科学プレゼン講座(数理探究科2年)

9月29日(水)、長崎大学大学院より菅向志郎先生をお招きし、科学プレゼン講座を開催しました。菅先生にはSSHの指定を受けた平成30年度から4年連続で講座を担当していただいています。科学プレゼンの基本から、ポスター作成・口頭発表における留意点まで、実例をもとにわかりやすく講義していただきました。今回の講義内容を各自のポスターや資料の作成に活かして、聴き手にやさしいプレゼンを行って欲しいと思います。



## ◆地学巡検(数理探究科1年)

10月14日(木)、1年数理探究科を対象に地学巡検を実施しました。川棚町の片島から、対岸の大崎半島の地層が見える崖を眺めての学習を行いました。砂岩の堆積層の上に流紋岩や玄武岩が層を成して重なっているのを観察し、土地・地質の成り立ちについて思いを馳せました。

また、琴平岳展望所からは河岸段丘や扇状地の広がりを見ることができました。天候にも恵まれ、充実した研修を行うことができました。

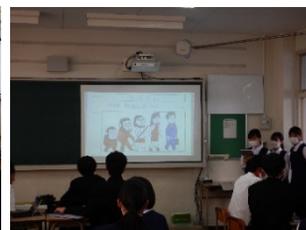


## ◆SS探究Ⅰ：大村視てあるき代替企画

10月22日(金)、1年生全員を対象に、大村視てあるき代替企画を実施しました。数理探究科は学科の特色を活かし多良岳での自然観察会を行いました。普通科・家政科は午前中に国立科学博物館のかはくVRを用いて、地球館や宇宙館をバーチャル散歩しながら、地球の生物や人類の歴史、日本列島の自然や成立過程などの見学をしました。その後、インターネットや地元のミライオン図書館から貸し出していただいた書籍や資料を用いたリサーチ活動、午後はリサーチ内容のクラス内発表に取り組みました。発表は手書きで書いたポスターだけでなく、タブレットやスクリーンを使うなど、各班工夫を凝らしました。

生徒の多くは東京上野にある実際の国立科学博物館を見学したことがなく、コロナが終息したらたくさんの展示品を自分の目で見てみたいという感想が多く聞かれました。また、現在、取り組んでいるミニ課題探究の様々なヒントを吸収してくれました。

数理探究科の多良岳での自然観察会の様子は、次号にて詳しく紹介します。



レターズ38号で紹介したSSH生徒研究発表会でのプレゼン動画が科学技術振興機構より公開されています。右記の2次元コードからお入りください。

SSH活動の詳細は、下記URLまたは2次元コードから

→ <http://www.news.ed.jp/omura-h/ssh/SSH.html>

